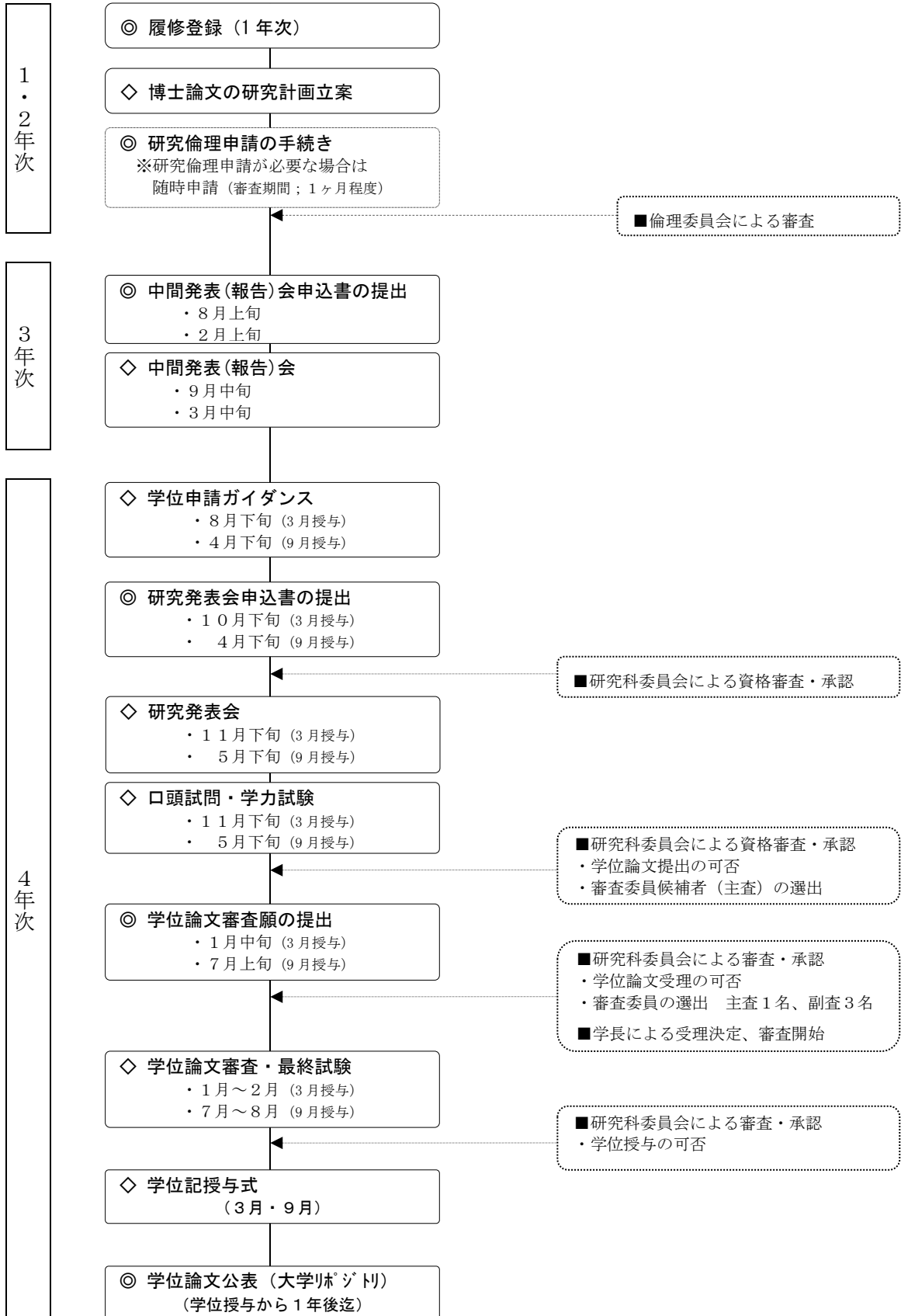


○ 学位取得までのプロセス<参考> (博士課程 薬学専攻)

◎印：大学院生が申請・手続きを実施



\* 学位申請等の手続きのスケジュールは変更する場合があります。

## ○ 修了要件および履修方法

### [ 修了要件 ]

薬学研究科博士課程を修了しようとする者は、研究科に4年以上在学し、30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、薬学研究科の行う博士学位論文の審査及び試験を受けるものとする。

ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績をあげたと研究科委員会が認めた場合は、大学院博士課程に3年以上在学すれば足りるものとする（→p26参照）。

### [ 履修方法 ]

区 分	薬学専攻 博士課程		
	科目区分	修了に必要な修得単位数	備 考
必 修	学系共通科目	6 単位	
	薬学基礎科目	4 単位	
	課題研究	10 単位	
選 択	所属する学系の応用科目	8 単位以上	
	所属以外の学系の応用科目	2 単位以上	
合 計		30 単位以上	

#### ■北海道医療大学大学院学則（抄）

（履修方法）

第8条 一略—

2 薬学研究科博士課程においては、研究科に4年以上在学し、30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、薬学研究科の行う博士学位論文の審査及び試験を受けるものとする。ただし、在学期間に関しては、特に優れた研究業績をあげたと大学院委員会が認めた場合は、大学院博士課程に3年以上在学すれば足りるものとする。

一略—

（授業科目の選定）

第14条 学生は、自己の履修すべき授業科目の選定に当たっては、あらかじめ指導教員の指導を受けなければならない。

一略—

（教育方法の特例）

第15条 本大学院では、夜間その他特定の時間又は時期において教育を行うことができる。

2 本大学院では、一部の授業科目について、多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で行うことができる。

（単位認定）

第17条 履修授業科目の単位の認定は、筆記若しくは口頭試験又は研究報告によるものとする。

2 前項に定める試験等の成績は、優・良・可及び不可に分け、優・良・可を合格として単位を与え、不可は不合格とする。

一略—

（課程修了の認定）

第22条 一略—

2 薬学研究科博士課程の修了は、原則として4年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文の審査及び最終試験に合格した者についてこれを認定する。

一略—

（学位の授与）

第23条 本大学院において、一中略— 薬学研究科博士課程を修了した者に対しては、博士（薬学）、の学位を授与する。

一略—

## ○ 履修登録

博士課程4年間で履修する科目の履修登録は、1年次に一括で登録する。  
指導教員と十分に相談のうえ、専攻分野の論文作成等に必要科目の履修計画を立て、指定の期日までに履修登録を行うこと。

**【履修届 提出期日】**；4月末日（ただし10月入学者は別途指定する）

**【提出先】**；薬学課

※ 履修届には、指導教員の承認（署名・押印）が必要

## ■履修科目の変更（2年次以上）

研究科委員会が認めた場合に限り、1年次に履修登録した科目を変更することが出来る。  
指導教員と十分に相談のうえ、履修変更届を提出すること。

**【履修変更届 提出期日】**；4月末日（ただし10月入学者は別途指定する）

**【提出先】**；薬学課

## ○ 中間発表（報告）会

研究の進捗状況を確認するとともに、研究指導教員以外の教員等から、論文作成に向けた助言・指導を受けることを目的として、中間発表（報告）会を実施する。

- ・在籍3年次終了までに、1回実施する。
- ・実施時期は、原則として 4月入学生は3年次の9月、10月入学生は3年次の3月とする。
- ・なお、学生が上記の年次より下級年次で実施することを妨げない。

### [ 実施形式 ]

- ・「発表会」形式で実施する。
- ・出席対象者は、原則として薬学研究科教員とする。

### [ 実施方法 ]

- ・発表者（学生）は 10分～15分間のプレゼンテーションを行う。
- ・発表等にかかわる所要時間は、前記のプレゼンテーションおよび質疑応答を含め、発表者（学生）1人あたり30分程度とする。

### [ その他 ]

- ・発表を行おうとする者（学生）は、あらかじめ「中間発表(報告)会申込書」を提出しなければならない。

※中間発表会の詳細は、別途案内

## ○ 研究発表会

学位論文審査願提出予定者に対して、研究発表会を実施する。

- ・実施時期は、原則として 3月授与申請者は4年次の11月、9月授与申請者は5月とする。

### [ 実施形式 ]

- ・「発表会」形式で実施する。
- ・出席対象者は、原則として薬学研究科教員とする。

### [ 実施方法 ]

- ・発表者1名につき、発表時間40分、質疑応答20分とする。

### [ その他 ]

- ・「学位論文申請手続き」を参照

## ○ 学力の確認（口頭試問・外国語試験）

学位論文審査願提出予定者に対して、学力の確認（口頭試問・学力試験）を行う。

- ・実施時期は、原則として 3月授与申請者は4年次の11月、9月授与申請者は5月とする。
- ・対象者および各諮問内容は、下記表参照。

### [ 口頭試問 ]

- ・専攻及び関連学術に関する口頭試問を実施する。（出席者は、薬学研究科教授）

### [ 外国語試験 ]

- ・英語の試験を実施する。

#### 大学院薬学研究科学位規程施行細則（抜粋）

第12条 学位規程第7条の規定により、研究科委員会は審査委員会を設ける。

- 2 学位規定第8条の規定により、審査委員会は学位論文の審査、最終試験及び学力の確認を行う。
- 3 学力の確認は、次の表にしたがって試問を行う。

6年制理科系大学を卒業 または理科系大学の修士課程を修了した者	専攻及び関連学術に関する試問
4年制理科系大学を卒業した者	専攻及び関連学術に関する試問及び英語
上記に該当しない者	専攻及び関連学術に関する試問、 英語及び基礎学力確認のための試問

## ○学位論文申請手続き

学位論文審査にあたっては、次の書類を提出しなくてはならない。

### [ 提出書類 ]

提出書類	様式等	部数
研究発表会申込書	様式9 A4	1
研究発表要旨(※1)	A4	1
学位論文審査願	様式1 A4	1
学位論文(※2)	様式4 A4	5
学位論文要旨(※3)	様式5 A4	1
論文目録	様式6 A4	1
学位論文の基礎となる報文		5
同上報文の共著者承諾書(共著者ごと)	様式8 A4	各1
履歴書	様式7 A4	1
その他必要な参考資料		(※4)
*論文審査料	50,000円 [証明書発行機で購入]	

※1：体裁は「学位論文要旨」と同じだが、タイトルを「研究発表要旨」とする。

※2：A4版に記し、A4版のファイルに綴じる。

ファイルの表紙・背に論文題目、研究科名、氏名を記すこと。

論文は手書き、ワープロいずれでも可。記載要領は別紙参照。

学位論文本文の最初(冒頭部分)に学位論文の英文アブストラクト【A4:1ページ(片面)程度】を入れること。

※3：A4版(横書き)に記すこと。3,200字以内。記載要領は別紙参照。

※4：必要に応じて添付する。

### [ 提出期限及び提出先 ]

【提出期限】：別途案内

【提出先】：薬学課

### [ 学位申請にかかる報文の要件 ]

大学院薬学研究科学位規程施行細則(抜粋)

第4条

2 学位論文の基礎となる報文は、査読のある学術雑誌に印刷公表されたもの又は掲載許可の証明がある原報とする。これらの報文は1報以上とし、次の要件を満たすことを原則とする。

- (1) 1報以上は第1著者であること。
- (2) (1)の1報以上は英語の報文であること。

大学院薬学研究科学位申請に関する申し合わせ

大学院薬学研究科学位規程施行細則第4条ならびに第8条については、次のとおりとする。

- (1) 同条第2項中「第1著者」とあるのは、第1著者と equal contribution がある場合を含む。
- (2) 同条第2項中「報文」とあるのは、原則として short communication に相当するものは含まない。
- (3) 学位を申請しようとする者が社会人の場合にあつては、第4条第2項中「英語の報文」とあるのは、日本語の報文であっても可とする。ただし、同項中「学術雑誌」とあるのは「学会誌」とする。
- (4) やむを得ぬ事由により同条第3項中の「承諾書」の提出が困難な場合にあつては、当該事由を記した「理由書」の提出をもって可とすることがある。

なお、上記の取扱いについては、研究科委員会において当該事由にもとづきその可否を決定する。

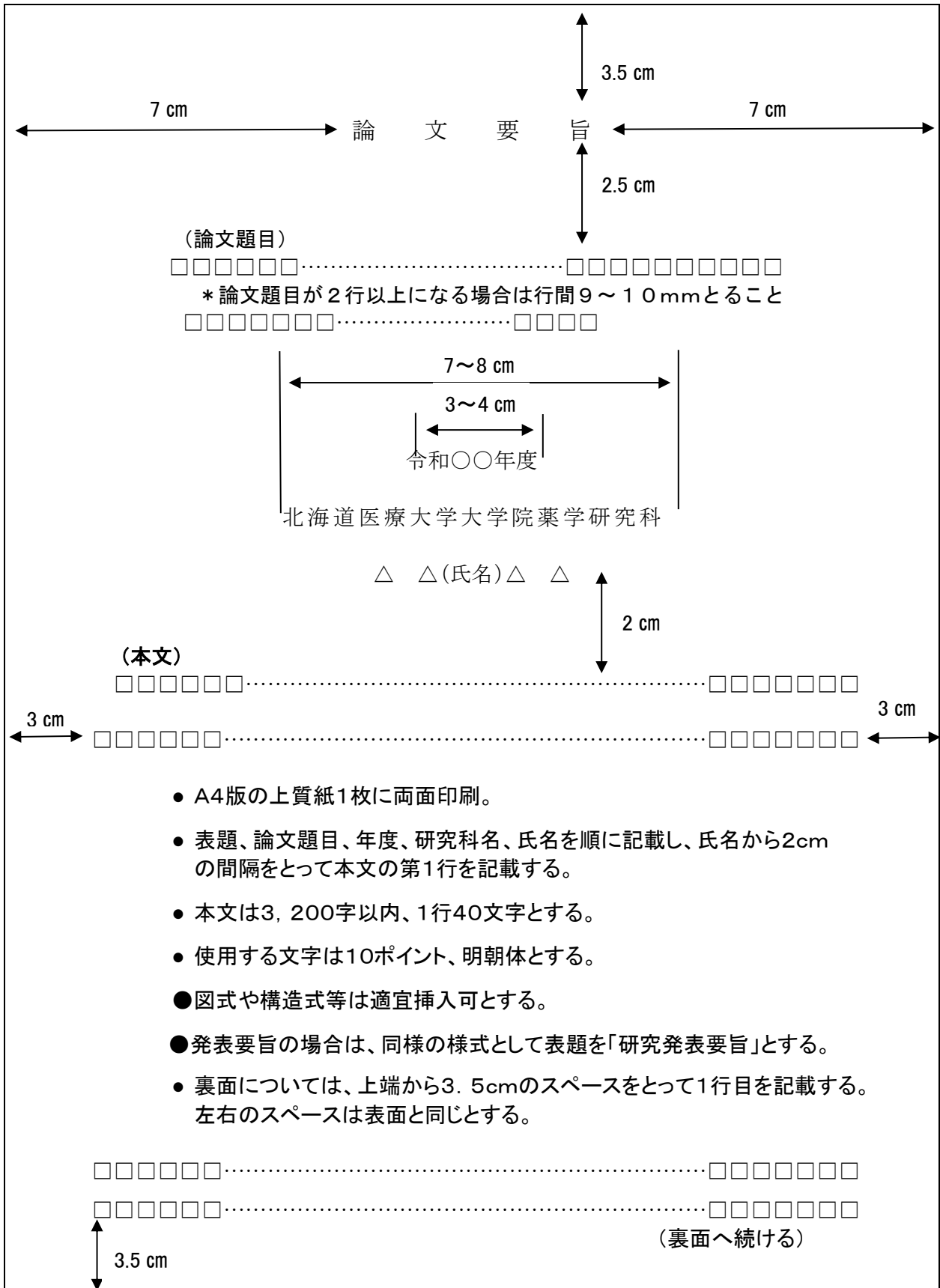
## ○学位論文執筆指針

1. ファイルの表紙（ヨコ書）：  
上方に「論文の題名（内容と整合性があること）」を中央揃えで記載  
  
下段：一段目「令和〇〇年度」、  
二段目「北海道医療大学大学院薬学研究科」\*論文博士の場合は記載不要、  
三段目「氏名」
2. ファイルの背表紙（タテ書）：  
「論文の題名」、  
その下段に「令和〇〇年度」、  
さらに、その下に「北海道医療大学大学院薬学研究科」\*論文博士の場合は記載不要、  
さらに、その下に「氏名」（並列も可）
3. 論文題名：  
「審査願」や「論文要旨」などの提出書類の論文題名と一致すること。
  - ・内容が論文題名に適しているかの確認。
  - ・英単語が含まれる場合は先頭文字は大文字とする。
  - ・表紙には論文題名と氏名の位置をバランスよく配置する。
4. 中表紙：  
ファイルの表紙（上記1. 参照）と同じ記載要領（ページ番号は、なし）
5. 略語集：  
中表紙と目次との間（ページ番号は、なし）。  
略語のABC順で記載する。
6. 論文構成：  
章、節、1）、2）の順。  
1-1-1、1-1-2 これ以上の細区分は避ける。
7. 目次：  
論文の本文から記載。ページ番号も記載。  
（目次自体にはページ番号は、なし）
8. 行間：  
1.5行程度、論文中で統一する。
9. 化合物名、記載方法や機器データの記載に注意。  
数字と%との間に、スペースを空けない。〈 例）4.5% 〉
10. 本文中の句読点：  
「、。」または「，．」いずれかに統一する。
11. 引用した図表：  
著作権を尊重し、出典を「．．．．．から引用」と記載。

12. 図表のタイトル：  
YAKUGAKU ZASSHI に準じる。
- ・ 英文で記載（接続詞、前置詞、冠詞以外の単語は、先頭文字を大文字で記す）。
  - ・ Table は表の上部に記載、Fig.、Chart、Scheme は図の下部に記載。
  - ・ 右にタイトルがつづく場合には、数字の直後にピリオドをつける。  
(例) タイトルがつく場合：  
Fig. 1. Active xxxx yyy のように、番号数字の後ろに、ピリオドをつける。
  - ・ (例) タイトルがつかない場合：  
Table 5 Fig. 3 Chart 2 のように、番号数字の後ろに、ピリオドをつけない。
  - ・ 2行以上のタイトルは、行頭位置を、「Fig. や Table」の左端に揃える。  
(例) Fig. 1. Effects of ATP . . . . . 一行目右端  
on the Liver . . . . .
13. 図表の説明：  
英文（やむをえない時のみ和文）。
14. 論文本文中、Fig.、Table、Chart、Scheme、図、表 の表記は一貫して統一すること。
15. 本文中の引用文献番号：  
・ 出現順に通し番号で上付き文字で記載。  
・ 複数の文献引用時の表記：  
連続番号：「<sup>3-6)</sup>」、不連続番号：「<sup>2,4,6)</sup>」  
・ 文末における「句読点と文献番号」の位置：  
句点の直後「<sup>2,4,6)</sup>」、読点の直後「<sup>2,4,6)</sup>」
16. 謝辞：  
・ 位置：引用文献リストの直前のページ。  
・ 謝辞の文中表記の注意：「校閲」→「指導」  
・ 大学院教員の所属：例)「北海道医療大学大学院薬学研究科 ○○分野」  
・ 大学院教員以外の教員の所属：例)「北海道医療大学薬学部○○講座(○○)」  
・ 教員以外への謝辞は、研究員クラスに限定し、研究室内のその他の氏名は省略し、「講座あるいは研究室の皆様」などとする。  
・ 謝辞の文の下に、「大学院修了の日（例：令和○年○月○日）」、「北海道医療大学大学院薬学研究科（\*論文博士の場合は、なし）」、「署名」
17. 引用文献リスト：  
・ 著者名は Family name と first name の initial の順で記載  
Hiroshige T.,-----,  
・ 論文タイトルは記載しなくても、記載しても良い。  
・ ページ番号：はじめページと終わりのページの両方を記載。 125-136  
・ 文献の末尾：年号のあとにピリオド (1999).  
・ 1つの文献の記述が2ページにわたらない様にページ構成を整える。

※ 審査中は主査・副査からの質問、応答などの連絡がありますので、出張など主査・副査の予定に注意してください。

○ 学位論文 作成要領 1 (研究発表要旨・論文要旨)





(表紙)

(論文題目)

□□□□□……………□□□□□□

(行間9～10mm)

□□□□□……………□□□□□

※文字のフォントに関して特段の規定はないが、  
全体のバランスを考慮して見やすい文字を使用すること。

令和〇〇年度

(間9～10mm)

(行間9～10mm)

△ △(氏名)△ △

( 本 文 )

□□□□□……………□□□□□□  
□□□□□□……………□□□□□□  
□□□□□□……………□□□□□□  
□□□□□□……………□□□□□□

- A4版の上質紙に片面印刷する。
- 1ページにつき28～30行、1行38～42文字を標準とする。
- 文字フォントに関して特段の規定はないが、全体のバランスを考慮して見やすい文字を使用すること。
- 図式や構造式等は適宜挿入可とする。
- ページ数は枠外中央に記入する。
- 本文の最初(冒頭部分)に英文アブストラクト【A4;1 ページ程度】を入れる。

□□□□□……………□□□□□□  
□□□□□□……………□□□□□□。  
□□□□□□……………□□□□□□  
□□□□□□……………□□□□□□  
□□□□□□……………□□□□□□  
□□□□□□……………□□□□□□。  
□□□□□□……………□□□□□□

○ 学位論文 作成要領 4 (参考)

- 日本薬学会  
YAKUGAKU ZASSHI 投稿規定 - 日本薬学会 HP を確認してください。